

「(仮称)相模鉄道本線(鶴ヶ峰駅付近)連続立体交差事業」  
の事前評価調書(案)に対する  
市民の皆さまからのご意見の内容とご意見に対する横浜市の考え方

○横浜市公共事業評価事前評価における市民意見

募集期間 令和3年9月1日～9月30日

市民意見 3名 12件

本事業及び本事業に関連するご意見に対し、横浜市の考え方を、次のとおりまとめました。  
また、お寄せいただいたご意見及び横浜市公共事業評価委員会の審議結果を踏まえ、公共事業事前評価調書(案)は修正無しとし、公共事業事前評価調書として確定しました。  
なお、お寄せいただいたご意見については、原則、原文そのまま掲載しています。

No.	ご意見	ご意見に対する横浜市の考え方
1	・バスターミナルの駅直結化 現在駅とバスターミナルが離れているため、雨の日等不便なため。	本事業の中では、駅とバスターミナルを直結させる予定はありません。 いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
2	・水道道の拡幅または線路跡地を利用した鶴ヶ峰駅～厚木街道のバイパス道路新設 踏切廃止により慢性的な渋滞は解消されるかもしれませんが、水道道は道幅が狭く交通量、人通りも多く危険です。 拡幅工事が難しい場合は線路跡地を利用して鶴ヶ峰駅～厚木街道のバイパス道路があればより安全に利用できます。	水道道の拡幅については、都市計画道路坂本鶴ヶ峰線の整備が予定されていますが、現時点で、着手時期は未定です。 線路の跡地については、所有者である相模鉄道株式会社に対して、地域が抱える課題の解決に資する土地利用ができるよう働きかけていきます。
3	・鶴ヶ峰駅東口の整備 鶴ヶ峰駅は実質西口しか存在せず、西谷方面に向かう場合に不便なため。	現段階では、鶴ヶ峰駅東口の整備計画はありませんが、今後の事業計画の参考とさせていただきます。
4	本評価調書で触れられていない本事業の効果。 本評価調書では、事業の効果(便益)について①災害時等における緊急活動への影響、②鉄道によるまちの分断	本事業は様々な整備効果があり、地域の皆様の期待が大変大きい事業と認識しています。 引き続き、相模鉄道株式会社と連携し、事業の推進を図ってまいります。

	<p>(の解消) を主に上げております。</p> <p>しかし鉄道事業者においても、連続立体交差化はダイヤ乱れ要因を局限し運行定時性を向上させるという便益があります。</p> <p>いち私企業とはいえ公共交通機関である相鉄線の運行定時性向上は、事業の対象である西谷～二俣川に市民に留まらず、すべての沿線住民にとっての便益に繋がります。</p> <p>よって、本事業の定量的な便益は本評価調書で上げられている総便益を上回ることは確実であり、そのため積極的に推進すべき事業であることに疑いの余地はありません。</p>	
5	<p>相鉄沿線以外への波及効果。</p> <p>さて、定時性の向上が事業区間以外の沿線住民・利用者にとっての便益となることは以上のとおりですが、実際にその恩恵の及ぶところは相鉄沿線だけに留まりません。</p> <p>現在相鉄線は JR 埼京線と相互直通運転を行っており、また近く東急線とも相互直通運転を開始する予定です。</p> <p>相互直通運転は直通する双方の鉄道利用者にとって、利用可能なネットワークが広がるという利点があると同時に、他線区でのダイヤ乱れの影響が波及し、定時性が損なわれるという欠点があります。</p> <p>この欠点は特に直通先が増えれば増えるほど大きくなることは周知の事実で、埼京線と線路を共有する湘南新宿ラインや、東京メトロと直通する東急線でも、既に利用者の不満を大きくする要因となっています。</p> <p>相鉄線と直通する、あるいはする予定の 2 社にとっても、本事業による相鉄</p>	<p>本事業は、本市が事業主体であり、横浜市中期 4 か年計画の主な施策のひとつとして位置付けております。</p> <p>引き続き、相模鉄道株式会社と連携し、事業の推進を図ってまいります。</p>

	<p>線の定時性向上は輸送の安定に寄与するのです。</p> <p>その観点から、本事業は旭区のみならず港北区など横浜市内の広範に渡って便益をもたらすものであり、積極的な横浜市による関与が望まれます。</p>	
6	<p>鶴ヶ峰駅の駅構造の改善。</p> <p>相鉄線の定時性向上は相鉄のみならず直通先の各社やその利用者にとっても重要であります。</p> <p>しかし、本事業の対象区間には鉄道運行の安定を損なう大きな問題が存在します。</p> <p>それはこの区間の運行列車の過密です。</p> <p>相鉄の大動脈である本線と、直通先との連絡線である新横浜線が合流する西谷から、いずみ野線が分岐する二俣川までの区間は現状では複線となります。</p> <p>各分岐は立体交差で支障は少ないものの、本線列車、いずみ野線列車、直通列車とが入り乱れ、現在の相鉄における明白なボトルネック、アキレス腱になっています。</p> <p>確かに西谷、二俣川ともに2面4線と一見すると余裕のある構造ですが、実際にはそれぞれ分岐駅として時間調整を行う列車が多く、ダイヤ乱れを吸収できるほどのマージンが確保できているとは言い難いでしょう。</p> <p>このアキレス腱を解消するには当該区間の複々線化が根本的な解決策となり得ますが、それは用地の面からも公共事業という面からも難しいでしょう。</p> <p>そこで本事業に際して鶴ヶ峰駅を島式2面4線のホーム配置とすることを提案するところです。</p>	<p>駅の構造については、相模鉄道株式会社と協議の上、2面2線に決定しています。</p>

	<p>本線に加えて待避線を設けることで優等列車の退避を行ったり、相互発着を行ったりすることで朝ラッシュ時やダイヤ乱れ時の運行整理に力を発揮するはずです。</p> <p>当然事業費は増大しますが、ひとたび立体交差化してしまえば鶴ヶ峰駅の構造を抜本的に変更することはもはや不可能であり、将来的な市内交通の便益を考えても鶴ヶ峰駅の2面4線化は決して高い投資とは言えないはずです。</p>	
7	<p>横浜市の鉄道事業への関与のあり方について。</p> <p>本評価調書を読む限りにおいて、横浜市の鉄道事業への関与はあくまで最低限に留めるという姿勢が見受けられます。</p> <p>しかし今後の人口減少社会もにらみながら、鉄道交通を地域社会の一部に取り込むという考え方の重要性が増しています。</p> <p>その流れの中で、神奈川東部方面線の実現を推進した横浜市としても、その延長として相鉄線の定時性の向上には責任を持って主体的に関与するべきです。</p> <p>鶴ヶ峰駅のみならず本事業全体を、相鉄および直通各社の輸送品質向上という観点からも再考していただけると幸いです。</p>	<p>本事業は本市が事業主体であり、横浜市中期4か年計画の主な施策のひとつとして位置付けております。</p> <p>引き続き、相模鉄道株式会社と連携し、事業の推進を図ってまいります。</p>
8	<p>位置図、相鉄・JR相互線西谷駅～を図に追加してはいかがでしょうか。</p>	<p>いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
9	<p>総事業について質問</p> <p>2ページでは、総事業費約784億円とありますが、4ページでは、総費用631.5億円とあります。</p> <p>この差、<math>784-631=153</math>億円は、鉄道事</p>	<p>総費用631.5億円は、国土交通省が策定している「費用便益分析マニュアル」に基づき、本事業に係る事業費から年4%の割合で割引く手法等により現在価値化した費用です。</p>

	<p>業者の負担金と考えてよいのでしょうか？</p>	<p>このため、総事業費 784 億円と 631.5 億円の差額は、鉄道事業者が負担する額ではありません。</p>
10	<p>災害時における緊急活動についてとても重要な事項だと考えます。横浜市では、地震対策として不燃化事業を実行していますが、本件は不燃化に寄与しますか？</p>	<p>本事業において建築する駅舎等については、関係法令及び相模鉄道株式会社の基準に則り不燃化に寄与した形で設計を進めています。</p>
11	<p>事業費について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・星川 - 天王町は高架ですが本件は地下です。地下の方が高価と思われます。</li> <li>これは保土ヶ谷バイパスがあるためだと考えます。</li> <li>・星川 - 天王町はすでに完成していると思います。</li> </ul> <p>事業費はいくらかかったのでしょうか？国、市、相鉄殿の分担は？</p>	<p>星川 - 天王町駅間の連続立体交差事業については総事業費 630 億円（国：297 億、市：243 億円、相模鉄道：90 億）となっています。</p>
12	<p>跡地利用について</p> <p>現鉄道敷地は相鉄殿の財産だと推測しますが、これはどのような利用を検討していますか？</p> <p>相鉄殿の例では大和駅を地下化した時に地上部はほぼ道路と簡易な植栽だけになりました。これはとても良かったと考えます。安心、安全、オープンなスペースです。大和駅に準じて整備してほしいです。基本道路と小公園、フリースペース、歩行者だけ、自転車は要検討かと考えます。</p>	<p>線路の跡地については、所有者である相模鉄道株式会社に対して、地域が抱える課題の解決に資する土地利用ができるよう働きかけていきます。</p>